

論述ブースト No.15

医師不足・地域医療格差を論じる ― 偏在・専門化・医療制度を3軸で整理する

導入文

「地方には医師が少ない」という問題を一般論で論じるだけでは、医学部の面接では評価されない。医師の地域偏在（都市集中）・専門化の進展（総合診療医不足）・診療報酬制度の構造的課題という3軸を持つことで、医師志望者として論拠のある立場表明が書けるようになる。

講義概要

医師不足・地域医療格差を「偏在（都市・地方・診療科間）」「専門化と総合診療医不足」「医療制度・診療報酬の構造」の3軸で体系化する。地域枠制度・総合診療専門医・遠隔医療・病院集約化の論点を整理し、「医師として何ができるか」という立場表明まで論証する。

授業目標：地域医療論述を一般論から、偏在・専門化・制度の3軸による医師視点の論証へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試で、地域医療テーマの小論文・面接に備えたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：3種の偏在（地域・診療科・施設）を説明できる／総合診療医の役割を論点に組み込める／制度的解決策と医師個人の役割を区別して論じられる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：一般論と3軸の論証を比較 2 偏在軸：地域偏在・診療科偏在・都市集中の構造的な原因 3 専門化軸：専門分化の進展と総合診療医不足の関係 4 制度軸：診療報酬・地域枠・医師臨床研修制度の問題 5 解決策：遠隔医療・病院集約化・地域枠を評価する 6 医師の役割：個人レベルで何ができるかを論点化 7 演習：「地域医療格差を解消するために医師は何をすべきか」を3軸で論じる

追加30分：地域枠で医師になることへの賛否を3軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：医師偏在の3種類の整理／専門化と総合診療医不足の接続／制度的課題の整理／解決策の評価枠組み

課題：「地域医療格差の解消に向けて医師志望者として何ができるか」を偏在・専門化・制度の3軸を参照して300字で論じる。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。